

株式会社あいち統合医療が取り組んでいる職場環境改善策は以下の通りです

区分	内容	具体例
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	会社理念「私達の理念」 デイサービスあいぎ・ケアプラン・メモリー「クレド」の策定とスタッフによる自発的見直し あいぎルールブックの制定
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	社外との共同研修への積極参加 犬山市介護事業者協議会運営委員会へのスタッフ派遣
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	NPOにこっと主催のマッチングイベントへの参加を通じた職の紹介と多様なシフトパターンの構築
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	犬山市・NPO法人等の主催する地域住民参加型イベントへの講師派遣実施 介護保険事業の枠を超えた活動「あいとうコミュニティ」の定期開催
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得情報の提供と研修費用の会社負担の明確化 介護職員初任者研修の修了サポート実績
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	WELL合同会社による介護職向けセルフキャリアドッグの導入と定期面談の実施
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	週32.5時間を基本とした常勤職員の設定 パートタイマーから正社員への転換実績 子育て・介護などの事情に合わせた多様なシフトパターンの設定
	有休休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制などにより、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	役割分担の定期的な見直しと職員からの自発的変更 複数担当を目指したOJTの実施による属人化の解消
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	介護福祉士・理学療法士などによる理論に基づいた介護や移乗技術研修の開催
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	鍼灸治療費用半額サポート制度による腰痛をはじめとする心身ストレスの軽減と発病予防
生産性向上のための業務改善の取組	介護ソフト、情報端末の導入	介護記録ソフトケア樹の導入とiPad4台導入によるペーパーレス化 医療・介護専用ICT "medical care station"活用による情報共有の即時化とデジタル化
	業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用など）を行っている	毎月の研修以外に茶話会の場を設けることで横のつながりを密にし、テーマごとにタスクフォースを設けることで、業務の効率改善を図る
	介護ロボットまたはインカムなどの職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入	全スタッフがMedical Care Stationを活用し、情報の即時共有と記録化ならびに災害時などの指示系統の確立を行っている
	業務内容の明確化と役割分担を行い、職員がケアに集中できる環境を整備。特に間接業務がある場合は、いわゆる介護助手などの活用や外注で担うなど、役割の見直しやシフトの組み替えなどを行う。	地域に潜在している子育て中の方やボランティアと密につながることで、それぞれの得意を活かした短時間の（有償）ボランティア制度を設け、配膳・掃除・傾聴・送迎などの業務を分散している
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	月1回の会議、研修による情報共有とケア内容の改善 委員会活動に対する経費補助を通じたコミュニケーションの円滑化 運営推進会議開催時の地域住民参加の倍増
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	市内の医療・介護関連イベントへの講師派遣実績 スタッフによるダブルワークの許容とその活動を通じた地域とのつながり創出支援
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	月末会議時などにおける、私たちの理念・あいぎクレドの反復紹介
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	クレームのみならず感謝や励ましの言葉を頂いた際の会議での共有機会